

## 本時のねらい

・曲を聴き、そのアウトラインをグループで協働して感じ取り、理解することができる

## 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ① ロイロノートを用いて、曲を聴いて感じたことをクラス全体で共有する。
- ② イヤホンスプリッターを用いて、班全員が同時に一つの音源を聞くことにより、知覚・感受したことを共有する。

## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・イヤホンスプリッター
- ・イヤホン
- ・テレビモニタ
- ・ロイロノート

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	・「魔王」を聴いて、感じたことを漢字一文字にして書く。	・ロイロノートに漢字一文字をそれぞれ書き、モニターに映し、共有する。 ・全員の意見が出そろった後、画面共有機能を利用して、それぞれどのような意見を出しているのかを確認させる。
展開 (30分)	・曲を聴き、一人何役を演じているのかを個人で考える。 ・教員から一人4役であることを確認し、再度曲を班ごとに聴き、どのトラックがどの役割かを考える。 ・班で議論をし、役割を分類したものを提出させ、クラスで共有する。	・ロイロノートのテスト機能（アンケート機能）を使うことで、個々の意見を視覚的に集約することができる。 ・曲が進むにつれ、何役を演じているかなど、個人の思考が変化する様子も確認する。 ・ロイロノートで送った音源を、イヤホンスプリッターを使って曲の途中でくり返し聴きたい部分などを、班員全員で聴くことにより、お互いの意見で共通すること、違うことを思い出しながら曲を味わう。 ・ロイロノートの思考ツールを活用し、班の意見をまとめやすくする。
まとめ (10分)	・再度、曲をかけ、個人で4役に分ける。 ・振り返りをまとめる。 ・次時の流れを確認する。	・ロイロノートを使い、最終的な個人の意見を提出させる

## 1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真1：ロイロノートのカードに、魔王を聴いて感じたことを漢字一文字で表している様子



写真2：イヤホンスプリッターを使って、同時に魔王の音源を聴いている様子



写真3：ロイロノートの「思考ツール」を使って仕分けした意見を全体で確認している様子

## 児童生徒の反応や変容

- ・導入の部分では生徒それぞれがロイロノートで提出した漢字をモニターに表示することでお互いの意見を知ることができ、より思考を深めることができた。
- ・展開の部分では、ロイロノートのテスト（アンケート）機能を使うことで、一人ひとりが考えを表明することができた。
- ・イヤホンスプリッターを使うことで、グループが同時に音楽を聴き、話し合いながら分類していく活動を通して、より音楽を深く聞こうという姿勢が見られた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・授業でタブレット PC を 1 人 1 台で使うことにハードルが高いと考えてしまいがちだが、生徒にも教員にも使いやすい工夫がなされている学習支援ツールを使えば、これまでやってきた授業も意外と簡単に行うことができた。これらのツールを活用することで、生徒たちが、主体的に音楽を聴き、考え、意見交流を活発に行おうとする姿が見られた。